2023年度採用分（採用期間2023年4月―2024年3月）

日本科学哲学会・石本基金「若手研究助成」申請書

注意：　本書式の末尾に掲載されている「記入要領」を熟読の上、作成すること。

（受付番号：No. ）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. 研究課題の名称 | |  | | | 1. 入会状況 |
| （1）現会員  （2）入会申込済み |
| 1. 現在の所属または身分 | |  | | | 1. 生年月日・年齢 |
| 年 月 日  才 |
| 1. 氏名 |  | | 1. 現在または最後の研究指導者名 |  | |
| 1. （最初の）大学入学以来の学歴、及び経歴 | | | | | |
|  | | | | | |
| 1. 現住所・電話番号・Emailアドレス | | | | | |
| 〒  Phone：  Email： | | | | | |
| 1. 審査結果通知先（8と異なる場合のみ） | | | | | |
|  | | | | | |

以下の項目は、必要に応じて長さを調整してください。なお申請書全体が6頁以内に収まるようにしてください。

1. 本研究課題の要旨（400字程度）
2. 本研究課題の内容・計画
3. 本研究課題の特色・意義・発展性
4. 本研究課題に関する学界での研究状況（先行研究、関連研究、等）、及び、それらについての申請者の所見
5. 本課題に関する申請者のこれまでの準備状況、将来的な研究計画、及び、その中での2023-24年度の位置づけ
6. 研究業績（本研究課題との結びつきに関わりなく、必ず修士論文から書き始め、申請者から見て重要な業績をすべて挙げること）

日本科学哲学会・石本基金「若手研究助成」申請書　記入要領

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2023年1月12日

日本科学哲学会会長　伊勢田　哲治

本申請書は、すべて、2023年1月1日現在の時点で記入して下さい。各項目については、以下の要領の通りとします。申請書全体（本記入要領は除く）は6頁以内に収まるように調整してください。なお、応募資格については、Webサイト上の「若手研究助成の公募について」を参照し、各自でよく確認するようお願い致します。

1. 研究課題の名称：字数制限なし。テクニカル・タームなどは、適宜、原語を挿入してよい。
2. 会員資格：（１）（２）のうち当てはまる項目を残し、もう一方は削除すること。
3. 現在の所属、または身分：大学院等に在学している場合は、その名称（課程、コース名等まで）及び学年を書き、大学院を修了または退学し非常勤職に就いている場合は、その機関の名称を書いた上で、非常勤であることを明記すること。どちらにも該当しない場合は、「無職」とする。
4. 現在または最後の指導者名：大学院等で、現在指導を受けている（または最後に受けた）研究者の、現在の所属機関と氏名。
5. （最初の）大学入学以来の学歴、及び職歴：最初に入った大学から、現在在籍している（最後に在籍した）大学院等までを記し、更に、非常勤職を経験している者は、これまでの職歴も書く。特に、既に修了･退学している者は、最後の博士後期課程（に相当する課程）に入学して以来、現在までの期間が10年以内であることが明瞭となるよう記述すること。
6. 本研究課題の要旨：400字程度で、研究課題の中身を簡潔・明瞭に説明すること。
7. 各項目の分量：「本研究課題の内容・計画」以降の項目は、字数は問わないが、冗長になりすぎないよう配慮すること。
8. 本課題に関する申請者のこれまでの準備状況、将来的な研究計画、及び、その中での2023-24年度の位置づけ：準備状況については、申請者が本課題を担うためどのような準備を行っているかを具体的に記述すること。また将来的な計画については、2023年度及び2024年度の2年間で、研究計画に示した内容をどのように遂行していくのかを説明すること。
9. 研究業績：申請者が従来どのような主題を研究してきたかが明らかとなるように、必ず修士論文の題目から書き始め、また、申請者にとって重要な業績および研究課題に関連する業績はすべて記すこと。

以　上